



# 花のしおり

石川県立金沢伏見高等学校  
図書委員会

図書だより  
135号

令和2年7月3日発行

## 土用干し

土用は、年に四回ありますが、一般的には夏の土用を指します。

夏の土用は、7月20日から8月7日頃の最も暑くて夏バテしやすい時季です。しじみや鰻などを食べて、体力を養うのです。

この頃行われるのが、土用干しです。いわゆる「虫干し」のことで晴れた日に衣服や本を陰干しし、風を通して、カビや虫がつくのを防ぐのです。

寺社では宝物（ほうもつ）を干したりもするので、その様子を一般公開することもあります。

図書館では曝書（ばくしょ）といって貴重書を虫干ししたりもします。

（『こころときめくことばの12か月』引用）



★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

## 読書感想文 課題図書 紹介

『廉太郎ノオト』 谷津 矢車 著



若き音楽家・瀧廉太郎は、数々の試練を乗り越え、作曲家としての才能を開花させていく。そして、新しい時代の音楽を夢みてドイツ・ライプツィヒへと旅立つが…。「西洋音楽不毛の地」に種を植えるべく短い命を燃やした天才の軌跡を描き出す。

『フラミンゴボーイ』 マイケル・モーパール 著



歴史のひとこまを力強く描く感動作品。始まりは、一枚の絵。その絵に導かれて歴史に埋もれた遠い過去へと長い旅に出る。フラミンゴと話ができる不思議な力を持つ少年と少女の切ないけれど優しい物語。

『キャパとゲルダ—ふたりの戦場カメラマン』

マーク・アロンソン 著



生きるために—ふたりは戦場へ向かった。激動の1930年代、スペイン内戦を世界に伝えた二人のカメラマン。キャパはゲルダに写真を教え、ゲルダはキャパを、戦場カメラマンとしてプロデュースした。夢と理想に燃え、カメラを武器に闘った若き二人の素顔とは…。

## お知らせ

### 参考 ↗

読書感想文を書いてみよう！  
課題図書でも、自由に本を選んで構いません。

是非図書室へ来て、本を選んでください。

「高校生におすすめの本」コーナーには読書感想文におすすめの本を並べています。要項・用紙は後日クラスで配付します。

7月下旬頃には、新着図書が入ります。リクエスト本・受賞本・先生方の推薦本・人気の作家・シリーズの継続本などです。夏休み中の読書や、読書感想文にいかがでしょうか？

## ☆夏期の貸出について☆

1人10冊・9月4日返却期限

(7月27日貸出分から)

# 新任の先生が 紹介する好きな本 ・おすすめの本 No.2

(未所蔵の資料もありますが、所蔵・収集予定です。)

## 杉本憲子教頭先生(英語)

### 「100万分の1回のねこ」 江國香織ほか12名著

佐野洋子さんの「100万回生きたねこ」への、13人の作家によるトリビュート短編集です。どの作品も心に残りますが、中でも角田光代さんの「おかあさんのところにやってきた猫」という短編が一番心にしました。角田さんと言えば、「八日目の蟬」で有名ですね。

この作品は母と娘のすれ違う愛情をとともうまく描いています。最後のシーンは泣けます。

短編集なので、さっと読めます。

ぜひ、ご一読あれ！

## 杉本祐史先生(情報)

### 「プログラムはなぜ動くのか」 矢沢久雄著

この本では、題名の通りコンピュータがプログラムを実行する際に、内部で何が起きているかが解説されています。

といっても、コンピュータは基本的にプログラムを実行して動くものなので、話はコンピュータの全般的な仕組みに及びます。そのため、普段コンピュータやスマートフォンを使う人なら興味をひかれる内容になっています。内容は詳細ですが、説明が丁寧なので、初心者にもわかりやすいと思います。

以下の疑問が気になる人は是非読んでみて下さい。

- ・ファイルのサイズとディスク上のサイズはなぜ違うのか。
- ・なぜわざわざデータをメモリに移してから処理をするのか。
- ・コンピュータはどんな計算を間違えるか。
- ・相手の出し方を学習して、じゃんけんが強いプログラムの

## 石田吾希子先生(保健体育)

### 「また、同じ夢を見ていた」 住野よる著

成長していくたびに、いろんな出会いや別れがあるという事かなと思っていたら、出会った人々は自分の選ばなかったもう一人の自分であるという事でした。

もしも 素直になれなかったら、もしもあの時…。

若いみなさん、是非とも読んで、後悔せず精一杯生きて下さい。

## 徳本龍司先生(理科)

### 「零式戦闘機」吉村昭著

吉村さんはこの本を書くために、設計主務者への取材を何度も行う等、事実こだわって書かれています。

日本人の技術に対するこだわりの強さを感じることができる作品です。

## 四藤卓郎先生(英語)

### 「神のロジック 人間のマジック」 西澤保彦著

世界中から謎の施設に集められた6人の生徒たち。

何の目的で集められたのか？

怪しげな教師たちの正体は？

犯人当て推理ゲームの真相とは？

とにかく謎が謎を呼ぶ展開！

ぜひ読んでみてください！